

聖稜だより

令和元年

冬号



発行者 医療法人社団聖稜会

発行責任者 宮津 巖

発行日 令和元年十二月二十日

医療連携相談事業部長

と な っ て

顔の見える関係づくりを！

兵永 佳子

本年四月一日付けで、医療連携相談事業部長を拝命しました兵永佳子です。前職は藤枝市立総合病院です。新人看護師として急性期病院に入職以来、三十九年間転職することなく3月に定年を迎えました。

井の中の蛙状態で当院に就職させていたただくことは、私にとって一大決心となりましたが、勤務初日に新天地に向かう車窓から見た新緑の山々の清々しさと桜並木の美しさに、そんな不安を一掃する

安堵の気持ちと、この病院に就職させていただいたことへの喜びの気持ちでいっぱいになりました。

さて、厚生労働省が二〇二五年に向けて打ち出した地域包括ケアシステムの構築は、『住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域がひとつになって支援すること』

と謳っています。藤枝市の高齢化率が三十%を超えようとしている中で、当法人でも、平成二八年度から法人内の各施設の意見を融合して、リハビリテーションを柱とする地域包括ケアづくりを推進するため、地域包括ケア委員会を発足させています。

私も委員会のメンバーとして施設間の連携を強化し、地域で困っている方々の支援ができる体制の整備に精力的に取り組んでいこうと思えます。その一環として、『法

人の各施設・事業に携わる職員の皆さんと顔の見える関係づくりを先ずやろう！』と決意し、各施設へのあいさつ回りを始めました。急性期病院での経験を活かし、回復期リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリ、老健施設、デイサービスに在宅介護支援事業、そして



地域包括ケア委員会

安心すこやかセンターと繋いでいけば、本来の地域包括ケアシステムが当法人の中で十分に実現できると実感をもって確信したところです。こうした中で、各施設の職員の皆さんのリハビリテーションに對する情熱にも触れることができ、改めて医療連携相談事業部として何をすべきか、何ができるのか、仲間たちみんなで考え、取り組んでいく思いを新たにしました。私は、市立病院で七年間ほど小児科病棟を担当し、生まれつき障害がある子どもや後天性の障害がある子ども、そしてそのご両親の皆さんにずっと接してきました。病気の治療が第一の急性期病院とは違い、この病院では、子どもたちがその病気と向き合いながらも、笑顔を絶やすことなくセラピストたちと一生懸命リハビリに励んでいます。その姿を目の当たりにし、『子どもの暮らしと地域包括ケア』の重要性を再認識するとともに、こうした子どもたちにはしっかりと目を向け、関わっていかれたらと思っています。

今後ともよろしくお願ひします。

子供の運動機能低下を

予防しよう!!

令和元年度・地域リハビリテーション強化推進事業の一環の中で、子供の運動機能低下を予防する関りとして、子供たち自身が、自分の体について知るための活動



を支援しています。

近年、国の指針により子ども達の運動器検診が行われています。子ども達を取り巻く環境は大きく変化を遂げ、現代の課題として運

動不足や運動過多の二極化が進むことがあげられ、怪我に繋がる事が懸念されています。

簡易な運動で怪我の減少や身体能力の向上、心の成長に繋がり健やかな成長を促す事を目的に当院の理学療法士四名、看護師一名が講師となり、広幡小学校の五・六年生一六五人と保護者の皆さんが参加されました。

体育館では子ども達と柔軟性・筋力・協調性の評価を行い、自身自身の身体について感じてもらう場を作り、楽しみながら体を動かしました。児童の中には、手首・足首に怪我をしている、しゃがみ込みができない、片足で床から立ち上がれない、バランスを取る事が苦手などさまざまでした。身体の状態を知った後、すくすく体操の一部を行い、再度困難であった運動を実施すると、半数くらいの児童で身体を動かしやすくなったと嬉しそうにしている様子が見られました。学校保健だよりにも当事業の事を掲載して頂き、幼少期・学童期からの予防が大切と全校生徒・保護者に向けて配信され

ました。後日、児童の傾向や今後の関りについて養護教諭と療法士の視点を踏まえて意見交換を実施し、「児童からは身体や姿勢について興味・関心を抱く事ができました。」との感想を頂くことができました。



また、先生方からも「普段から姿勢やケガ、運動経験の不足を感じており、『子どもの運動機能低下を予防する関り』について興味・関心を持った。学校でも運動機能低下の予防について取り組んでいきたい。」等の感想を頂くことができました。

(文責 多職種連携チーム)

外国からのお客様

令和元年十一月八日(金)、台湾・亞洲創意高齢福祉協会の皆様が聖稜会(聖稜リハビリテーション病院・グリーンヒルズ藤枝)に視察研修に来られました。台湾においても高齢化は問題となる中で、訪問団の皆さんは熱心に研修に取り組んでおられました



〈編集〉病院ホームページ管理委員会